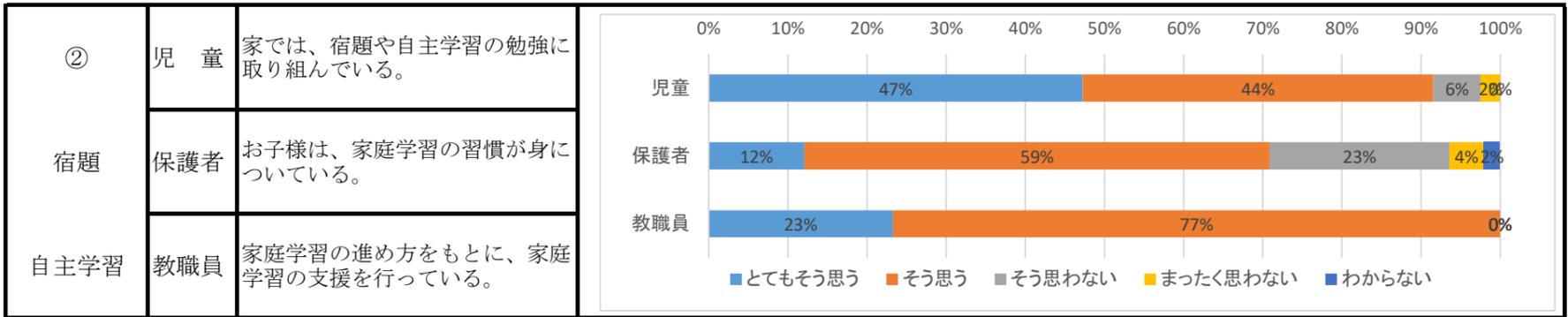
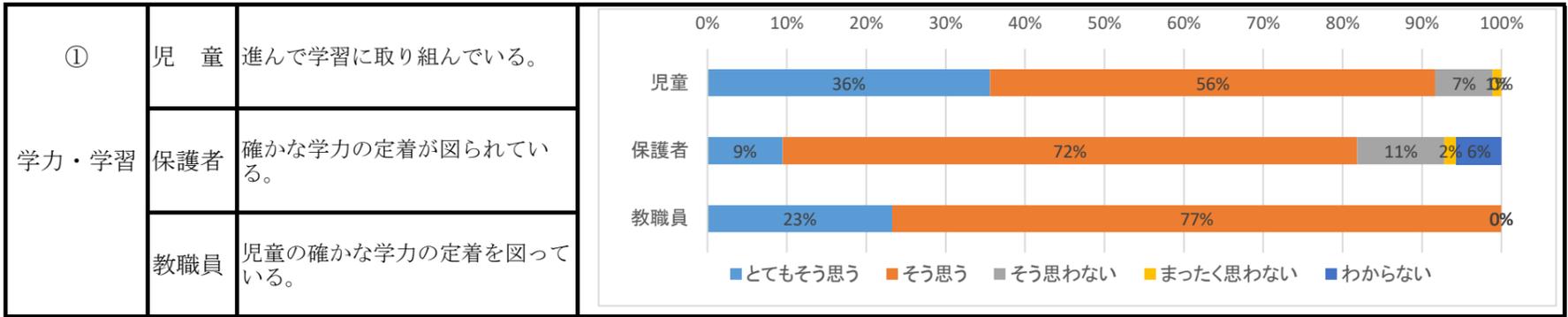
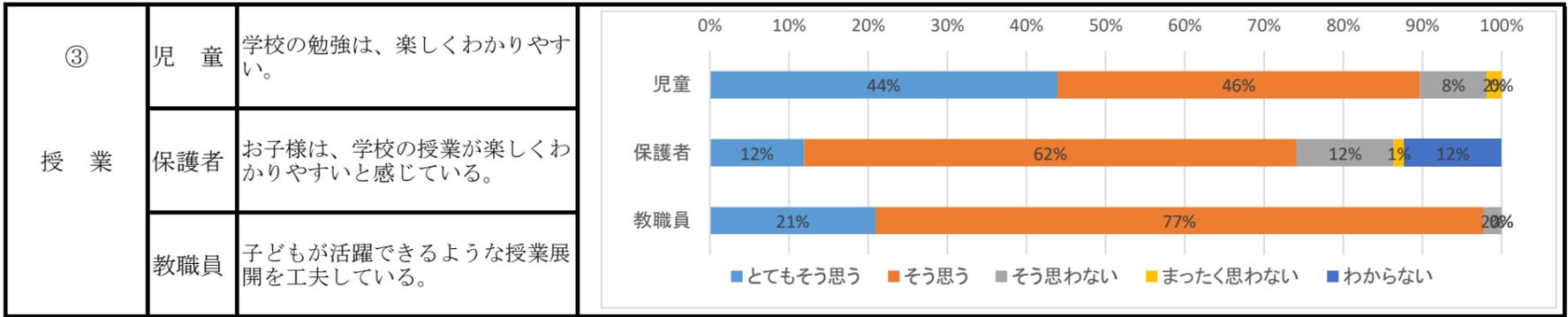


令和6年度学校評価結果

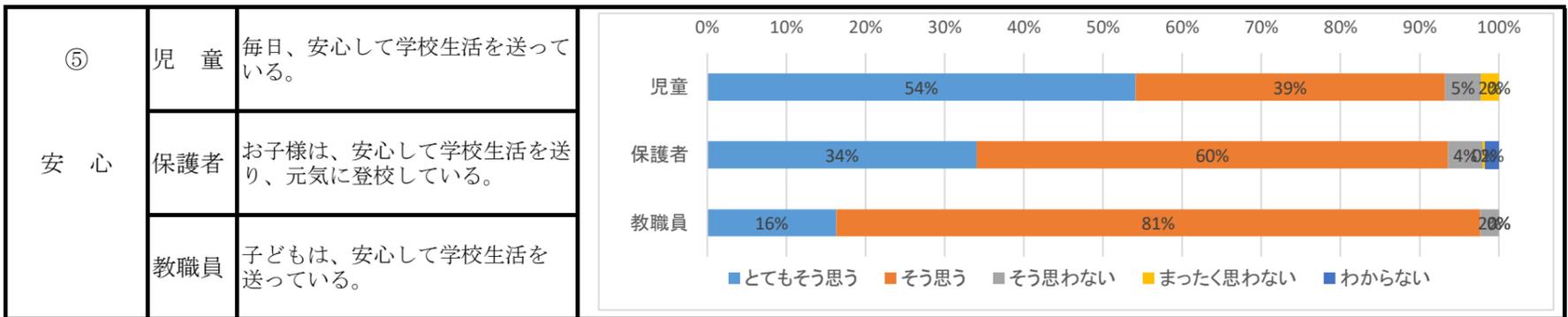
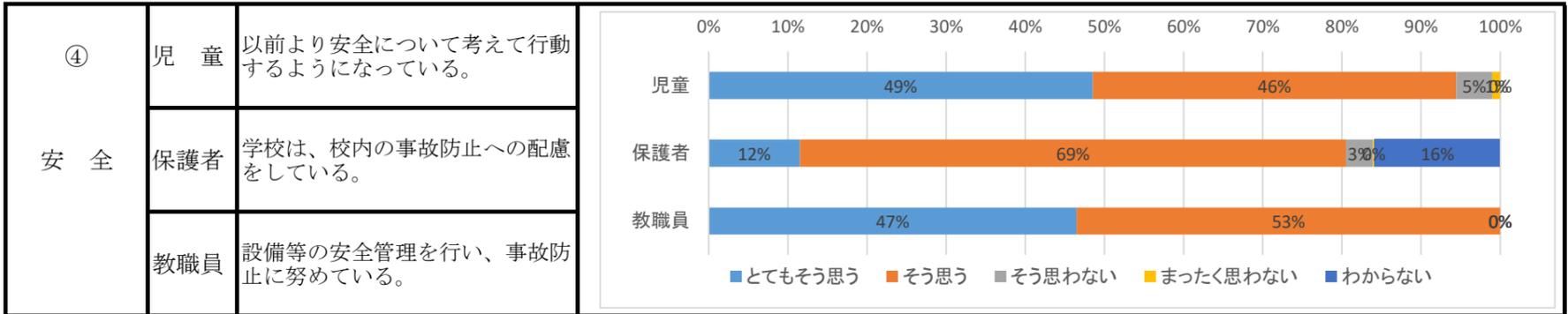
【1】児童の学力・学習状況



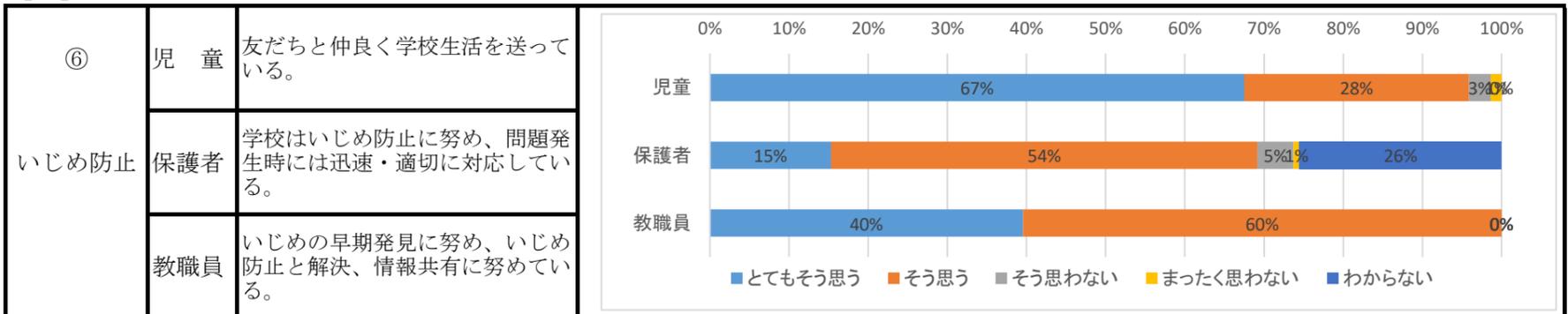
【2】教員の授業にかかわる評価



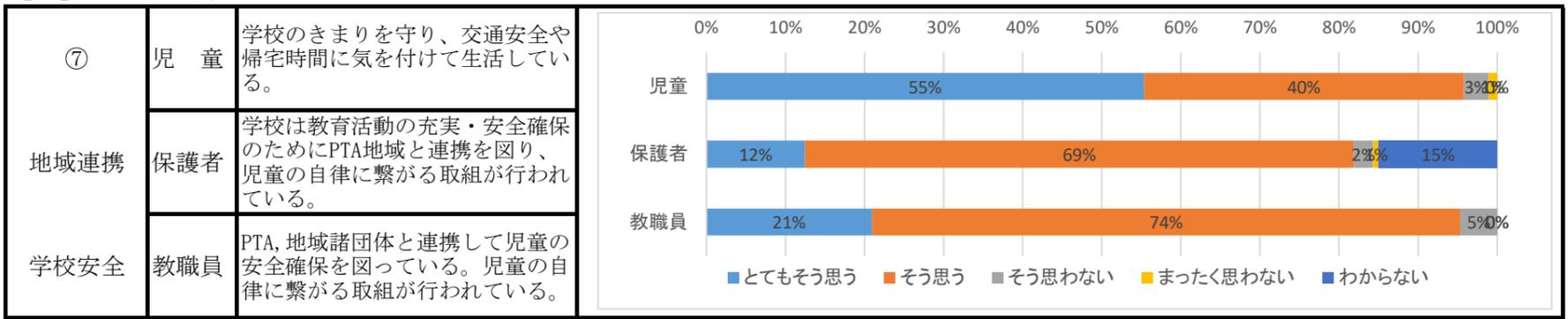
【3】児童生徒の安全・安心



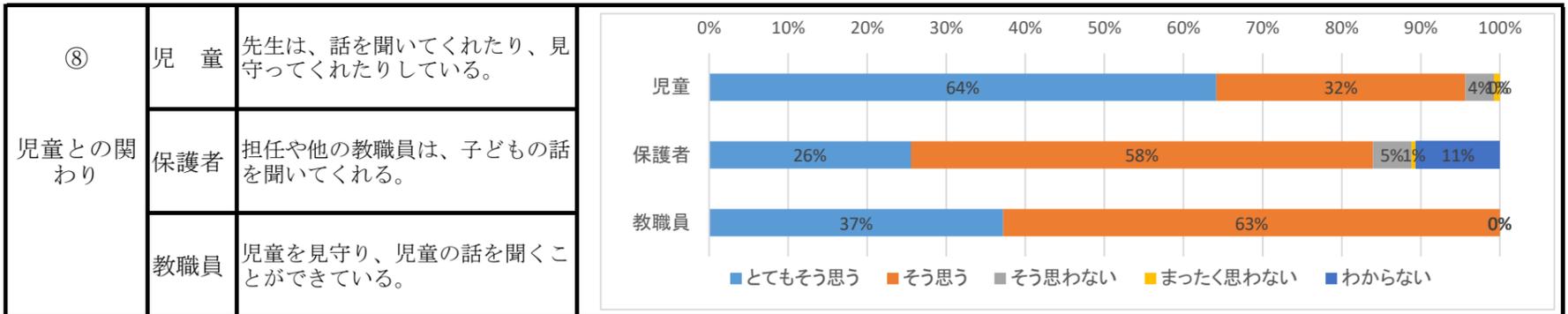
【4】いじめ防止



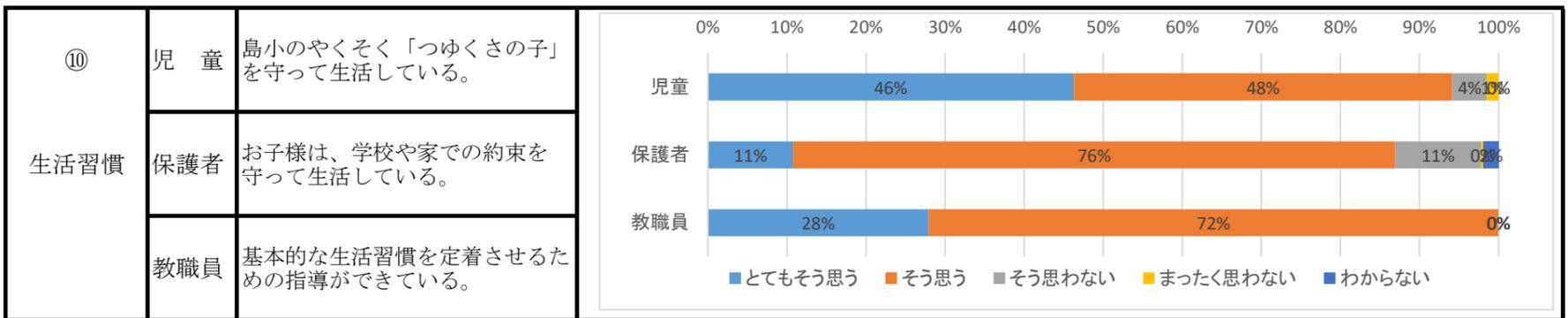
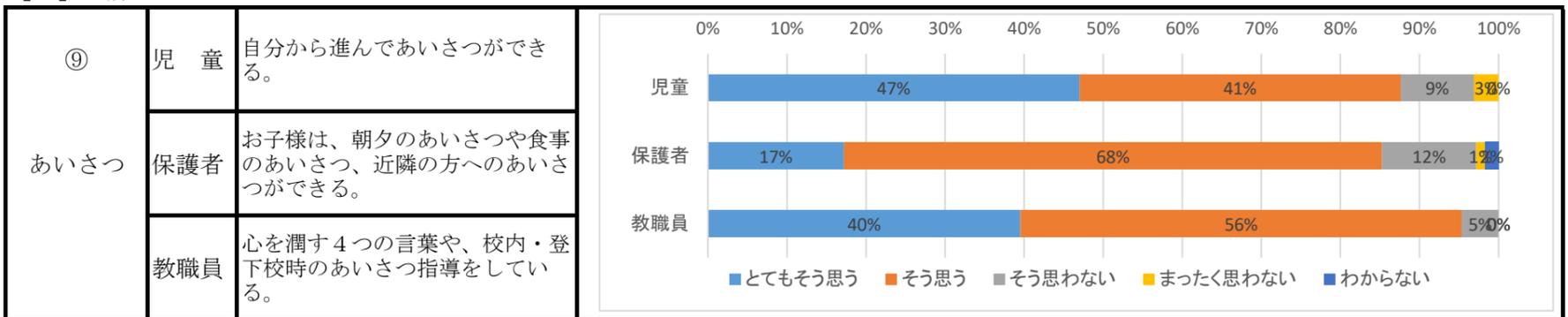
【5】地域との連携における学校安全



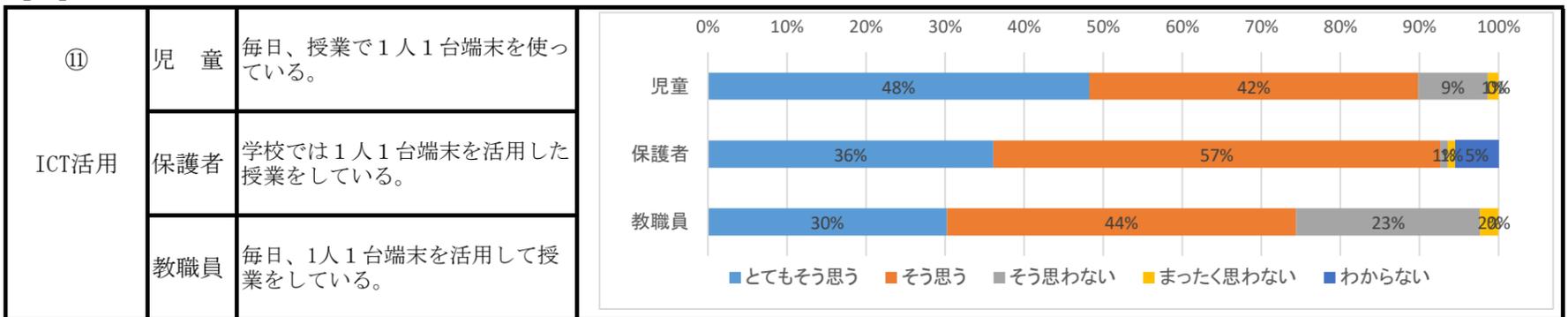
【6】児童と向き合う時間の確保



【7】生活



【8】GIGAスクール



○学校評価を受けて（※「わからない」の回答を除いた数値で結果を考察しています。ここで取り上げている％は肯定的回答の割合です。）
 ほとんど項目で昨年度を超える結果となった。特に、児童の安心・安全の項目では、昨年度を大きく上回った。引き続き、みんなが「行こう」と思える学校を作っていきたい。
 ①児童の学力・学習状況では、「進んで学習に取り組んでいる」の設問に肯定的な回答をした児童が92％（昨年比+1Pt）となった。日頃から多くの児童が主体的に学習に取り組んでいる様子が伺える。
 ②教員の授業にかかわる評価では、「学校の勉強が楽しくて分かりやすい」の設問に肯定的な回答をした児童が90％（昨年比+2Pt）となった。
 ③児童生徒の安心・安全では、「毎日安心して学校生活を送っている」の設問に肯定的な回答をした児童が93％（昨年比+13Pt）となった。また、保護者の「お子様は、安心して学校生活を送り、元気に登校している」については、94％（昨年比+9Pt）となった。
 ④いじめ防止では、児童が94％（昨年比+1Pt）保護者が93％（昨年比△2Pt）となった。いじめについては、児童の6％・保護者の7％が不安を抱えているということを受容し、引き続き、防止に努め、迅速に対応していきたい。
 ⑤地域との連携における学校安全については、保護者が96％（昨年比±0Pt）教員が95％（昨年比+11Pt）となった。
 ⑥児童との関わりについて、「先生は、話を聞いてくれたり、見守ってくれたりしている」は、児童が96％（昨年比+6Pt）となった。月曜日の日課表の変更や教育相談日の増加などに伴い、教員一人ひとりが児童と向き合える時間の確保ができたことが要因の1つと考える。
 ⑦生活では、挨拶の項目で児童が88％（昨年比+2Pt）生活習慣の項目で児童が94％（昨年比+1Pt）となった。概ね、例年通りである。
 ⑧GIGAスクールでは、児童が90％（昨年比+1Pt）保護者が98％（昨年比+6Pt）教員が74％（昨年比△2Pt）となった。教員の数値が下がったのは、教科担任制により一部の技能教科（体育や図工など）を担当する教員の利用頻度が落ちたためと考える。